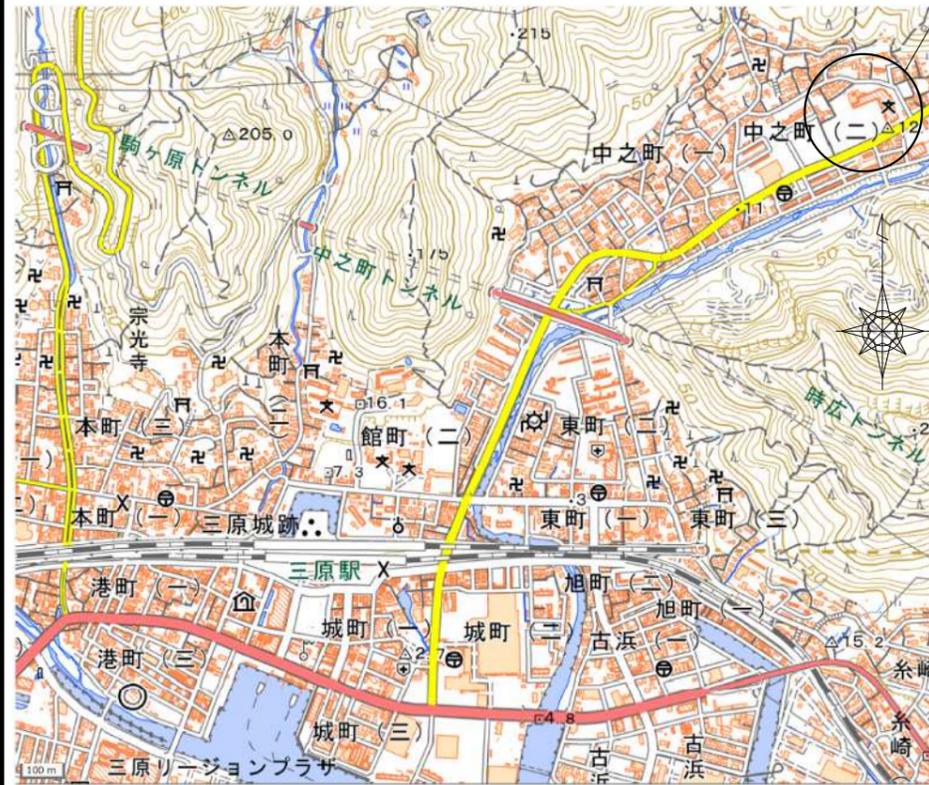


工事仕様書

工事名称	三原市立第二中学校公共下水道接続工事
工事場所	三原市中之町二丁目
工事内容	本工事は三原市立第二中学校の排水設備を改修する。 排水設備改修工事 一式 浄化槽撤去工事 一式 その他 一式
準 則	公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 建築工事編 電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)平成31年版に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法, 同施行令, 同施行規則・消防法, 同施行令・建設業法, 同施行令, 同施行規則・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・大気汚染防止法, 石綿障害予防規則・振動規制法・土壌汚染対策法・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の大意を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和4年3月17日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
留 意 点	<ul style="list-style-type: none">・入札に先立ち現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて利用者等の通路の制限を行う。ただし、事前に施設管理者等へ説明を行い、承諾を得るものとする。・施設の所有物に養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者に連絡すること。・解体工事及びアンカー工事等の騒音、振動及び粉塵等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、住民へ最大限配慮した計画のもと行うこと。・施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要に応じて誘導員を常時配置し、危険防止に努めること。・工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺環境対策のため散水を実施すること。・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。・また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。

- その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- 施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- 官公庁その他への手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- 周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行なうこと。
- 台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。

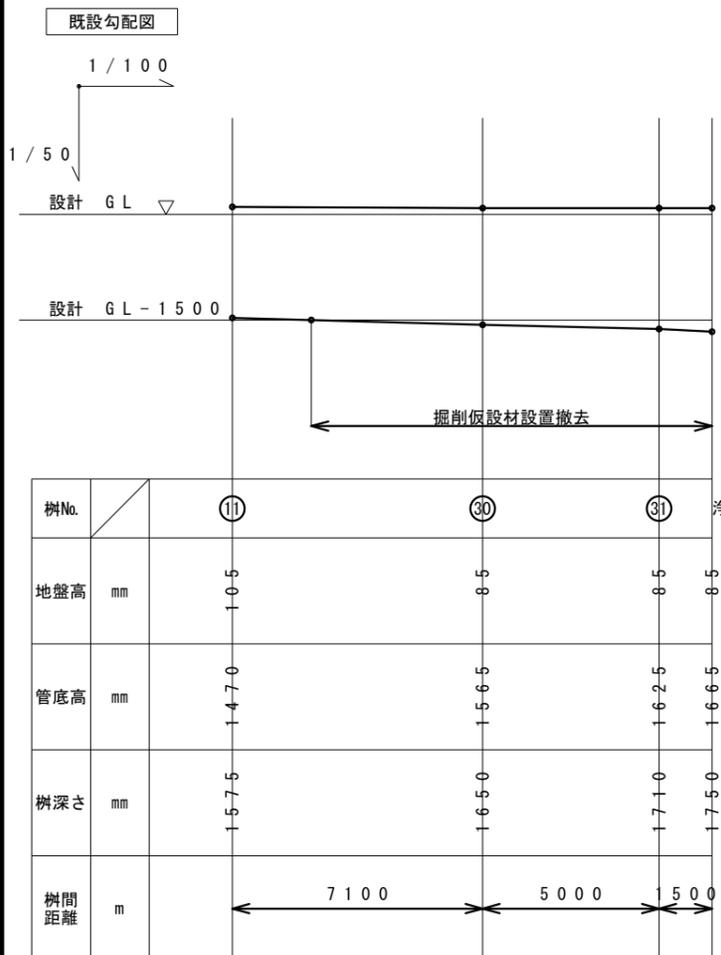
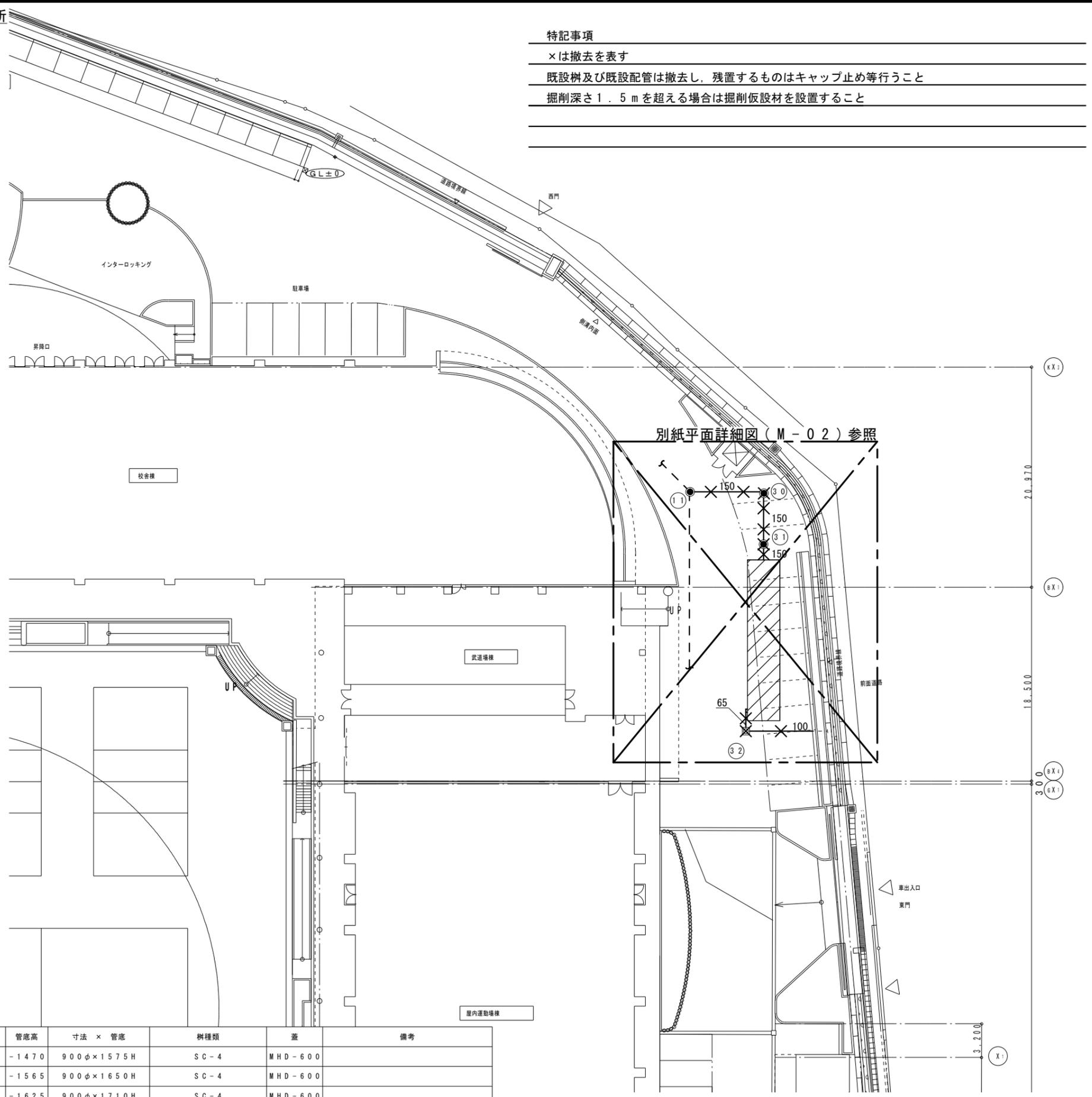


出典：国土地理院ウェブサイト (https://www.gsi.go.jp/) 付近見取図 S=N.S

工事場所

特記事項

- ×は撤去を表す
- 既設樹及び既設配管は撤去し、残置するものはキャップ止め等行うこと
- 掘削深さ1.5mを超える場合は掘削仮設材を設置すること



樹リスト

記号	名称	地盤高	管底高	寸法 × 管底	樹種類	蓋	備考
⑪	既設インパート樹	+105	-1470	900φ×1575H	SC-4	MHD-600	
⑩	既設インパート樹	+85	-1565	900φ×1650H	SC-4	MHD-600	
⑨	既設インパート樹	+85	-1625	900φ×1710H	SC-4	MHD-600	
⑫	既設雑用水樹	+235	-245	450□×480H	SC-2	MHD-600	

三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考
----	----	----	----	----	----

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

平面図 改修前

縮尺

1/200

図面番号

M-01

校の内

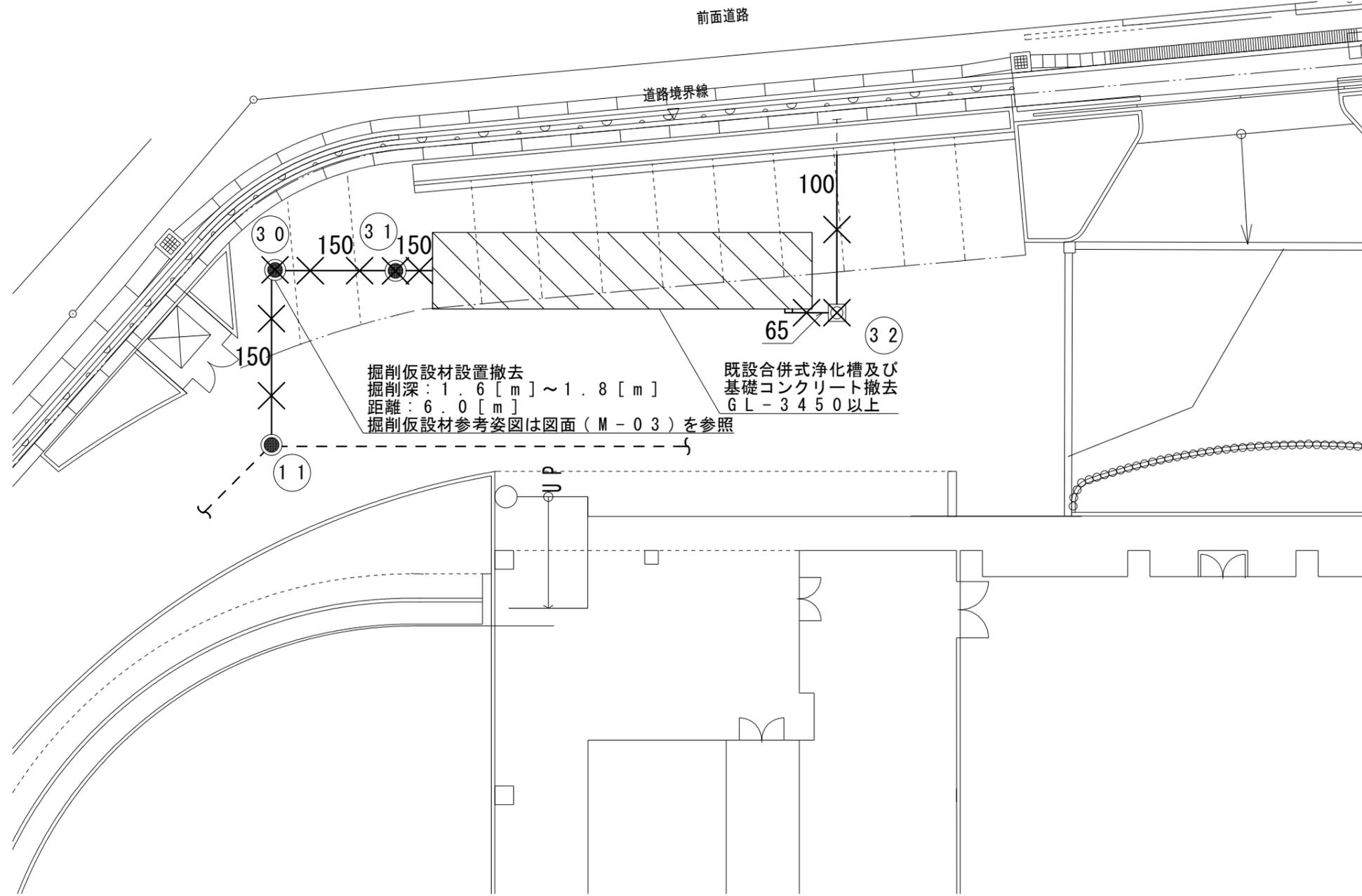
号図

特記事項

×は撤去を表す

既設樹及び既設配管は撤去し、残置するものはキャップ止め等行うこと

掘削深さ1.5mを超える場合は掘削仮設材を設置すること



三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

平面詳細図 改修前

縮尺

1/100

図面番号

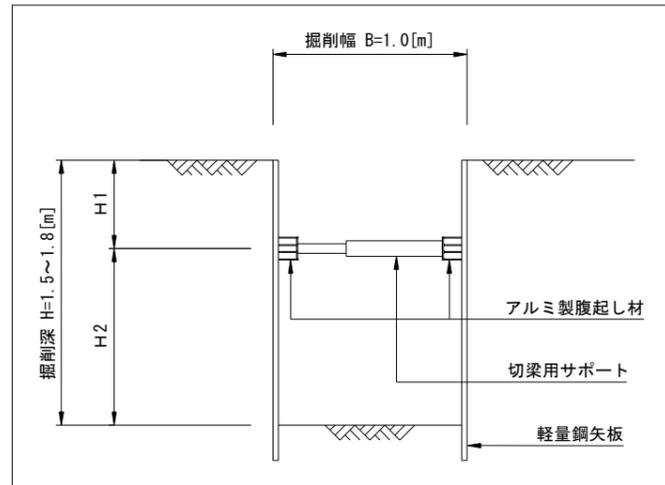
M-02

枚の内

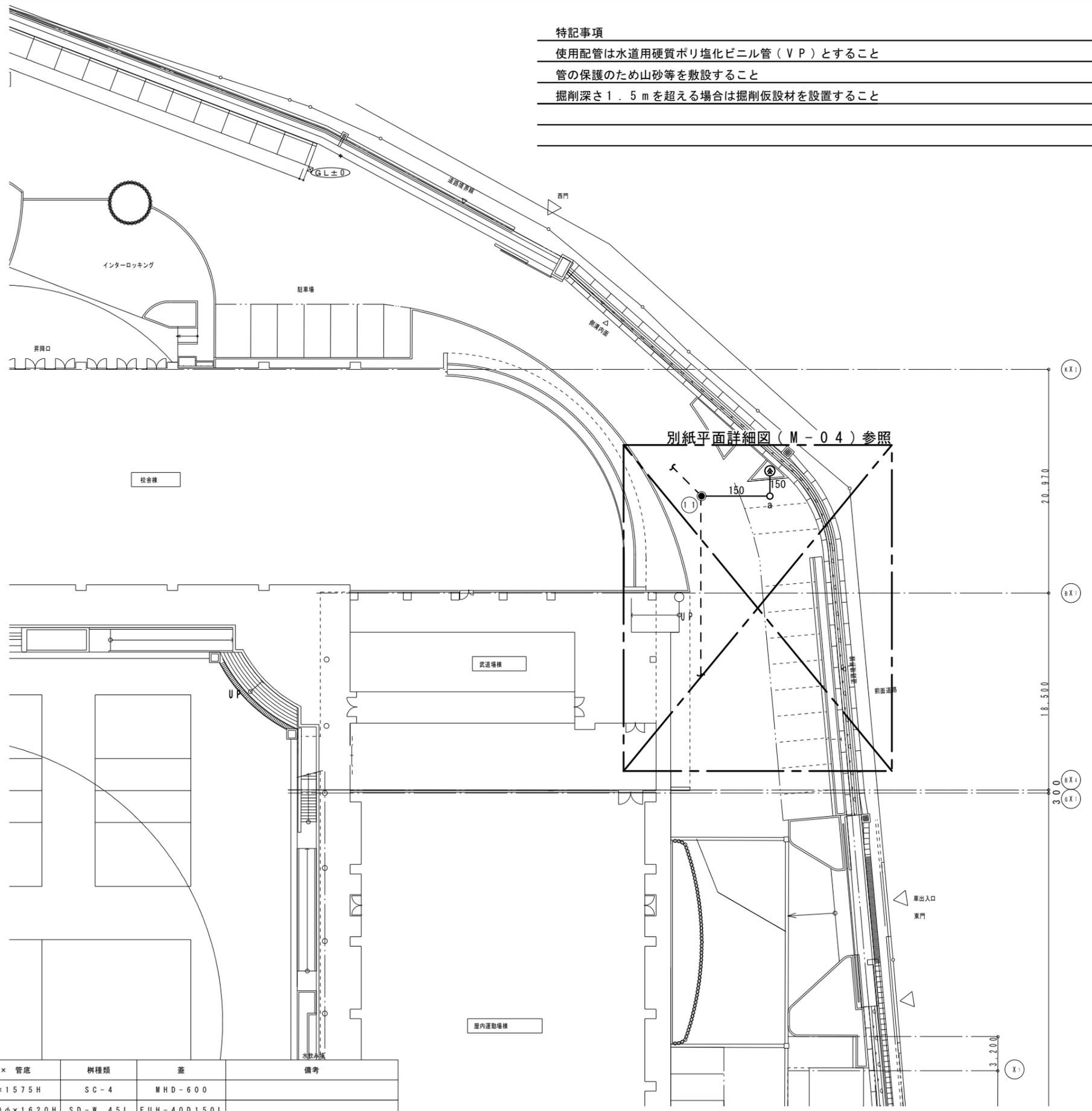
号図

特記事項

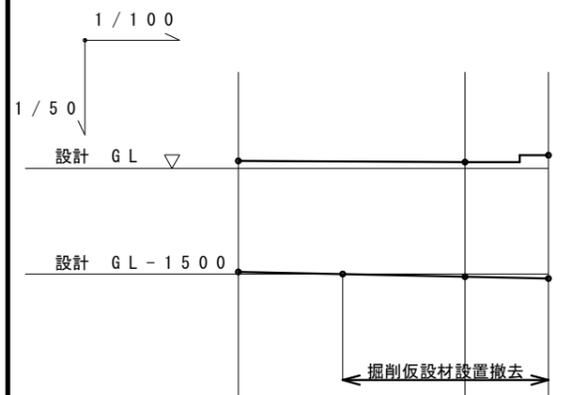
- 使用配管は水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP）とすること
- 管の保護のため山砂等を敷設すること
- 掘削深さ1.5mを超える場合は掘削仮設材を設置すること



掘削仮設材参考姿図 S=N.S



新設勾配図



樹No.	①	a	②	
地盤高	mm	105	85	185
管底高	mm	1470	1535	1560
樹深さ	mm	1575	1575	1745
樹間距離	m	← 6425 →		← 2370 →

樹リスト

記号	名称	地盤高	管底高	寸法 × 管底	樹種類	蓋	備考
①	既設インバート樹	+105	-1470	900φ×1575H	SC-4	MHD-600	
a	新設小口径樹	+85	-1535	150-300φ×1620H	SD-W 45L	FUH-40D150L	

※ 管底は参考とし、現場実測の上監督員の承諾を得て施工すること。

三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考
----	----	----	----	----	----

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

平面図 改修後

縮尺

1/200

図面番号

M-03

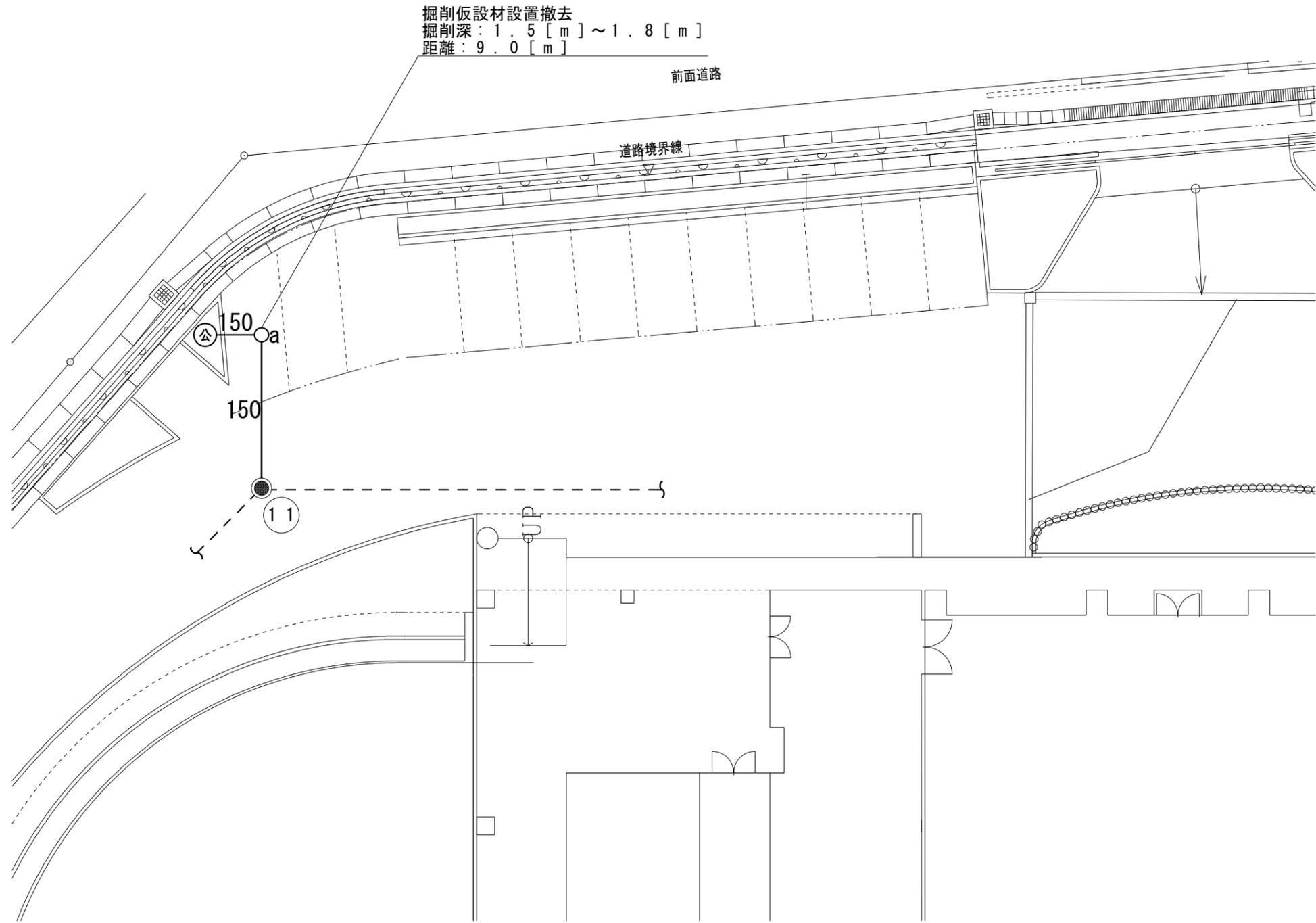
校の内
号図

特記事項

使用配管は水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP）とすること

管の保護のため山砂等を敷設すること

掘削深さ1.5mを超える場合は掘削仮設材を設置すること



三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

平面詳細図 改修後

縮尺

1/100

図面番号

M-04

号図

枚の内

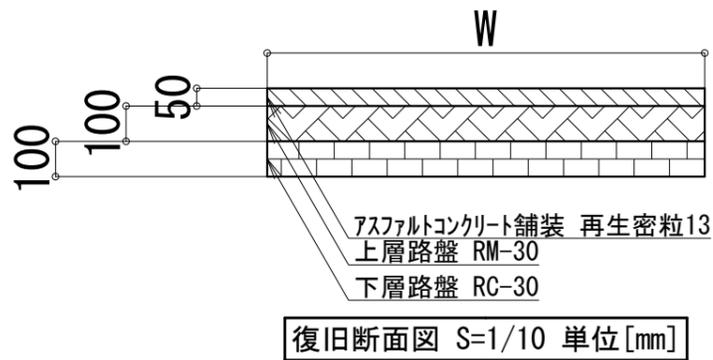
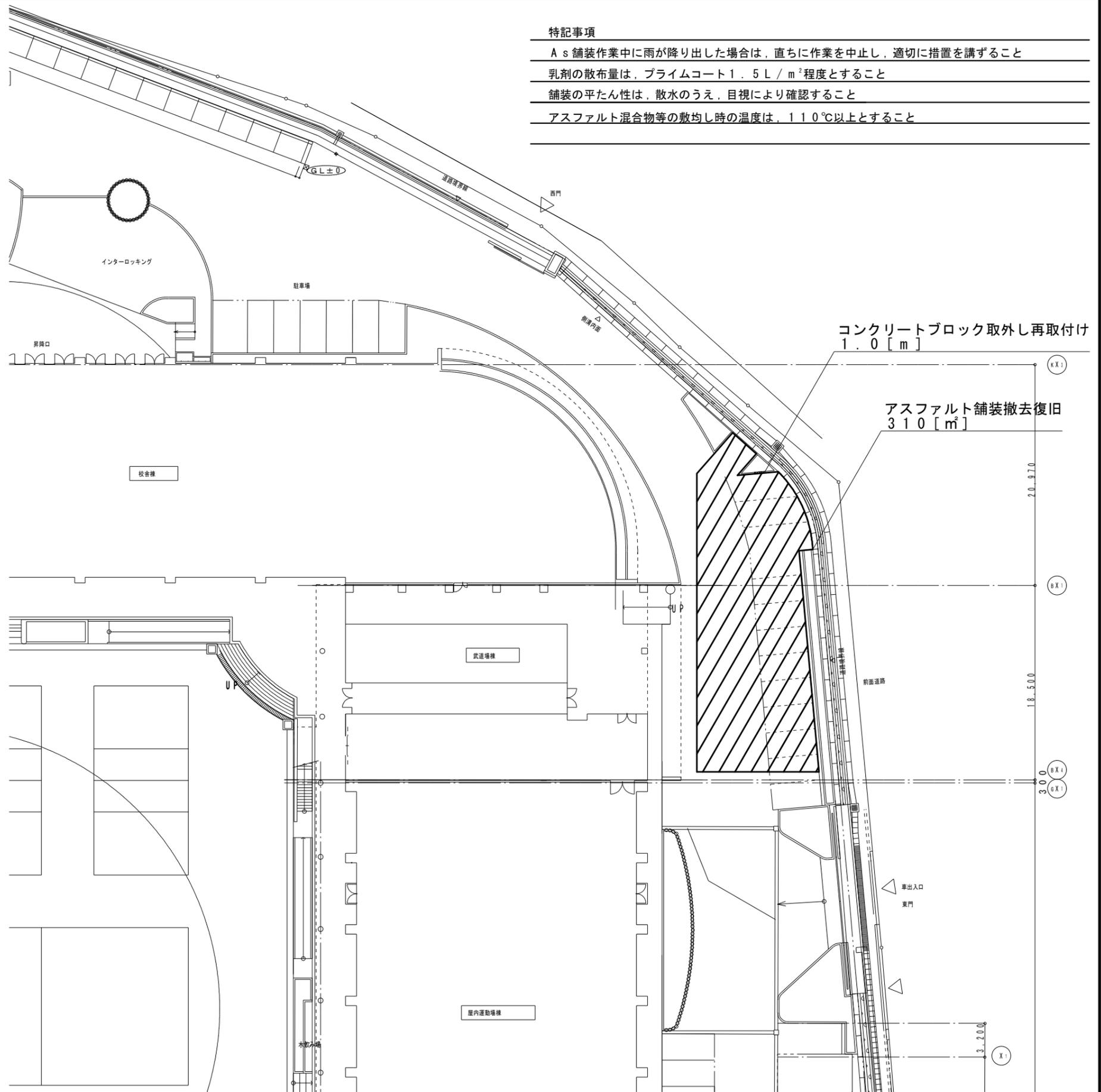
特記事項

A s 舗装作業中に雨が降り出した場合は、直ちに作業を中止し、適切に措置を講ずること

乳剤の散布量は、プライムコート 1.5 L / m² 程度とすること

舗装の平坦性は、散水のうえ、目視により確認すること

アスファルト混合物等の敷均し時の温度は、110℃以上とすること



三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付

備考

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

アスファルト舗装撤去復旧図

縮尺

1/200

図面番号

M-05

号図

校の内

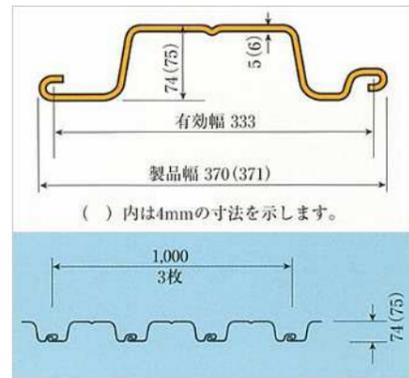
特記事項

×は撤去を表す

樹及び配管は撤去し、残置する配管はキャップ止め等行うこと

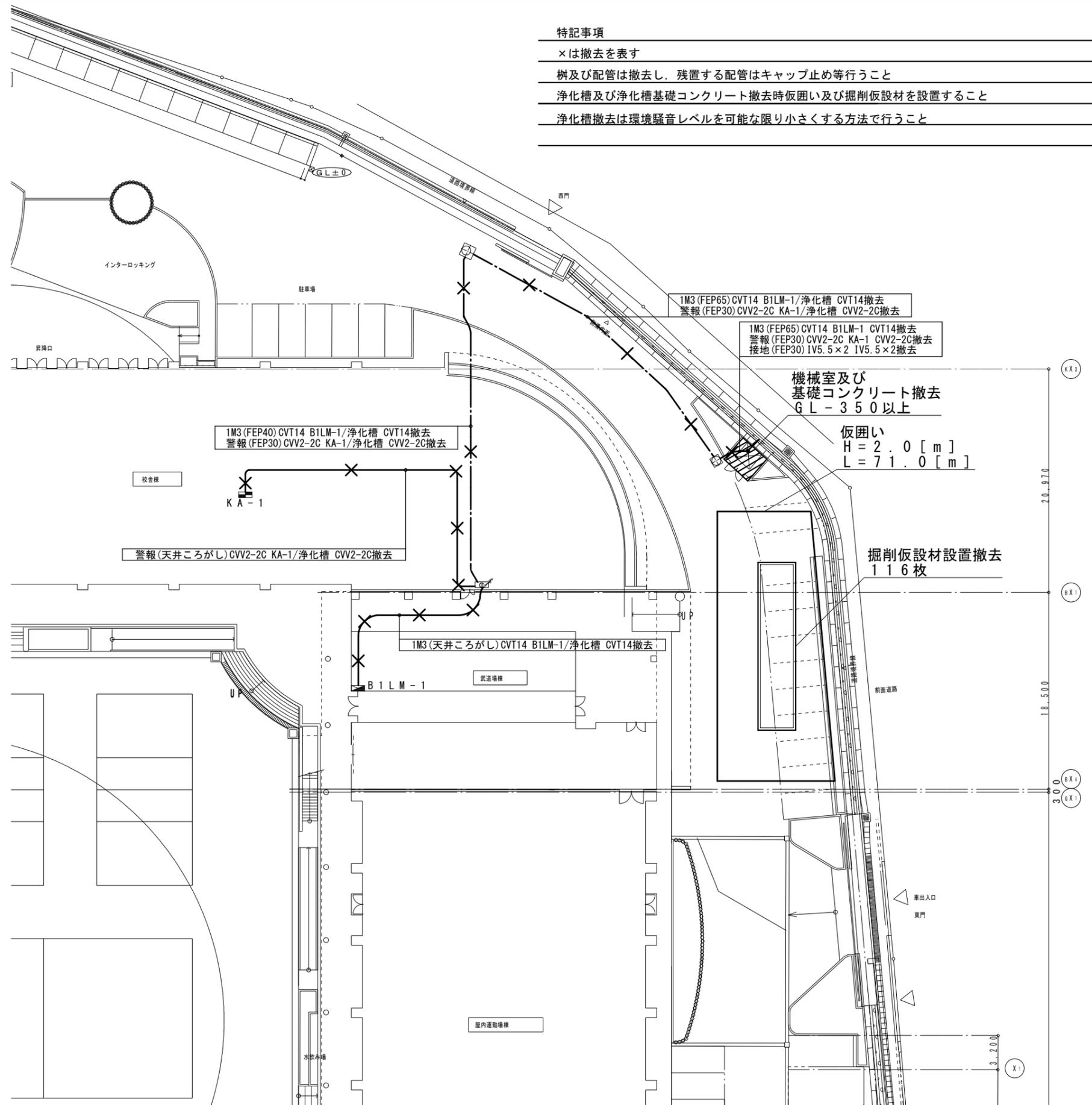
浄化槽及び浄化槽基礎コンクリート撤去時仮囲い及び掘削仮設材を設置すること

浄化槽撤去は環境騒音レベルを可能な限り小さくする方法で行うこと



() 内は4mmの寸法を示します。

軽量鋼矢板参考姿図 S-N.S
LSP-3b型 (t=5.0[mm], H=6.0[m])



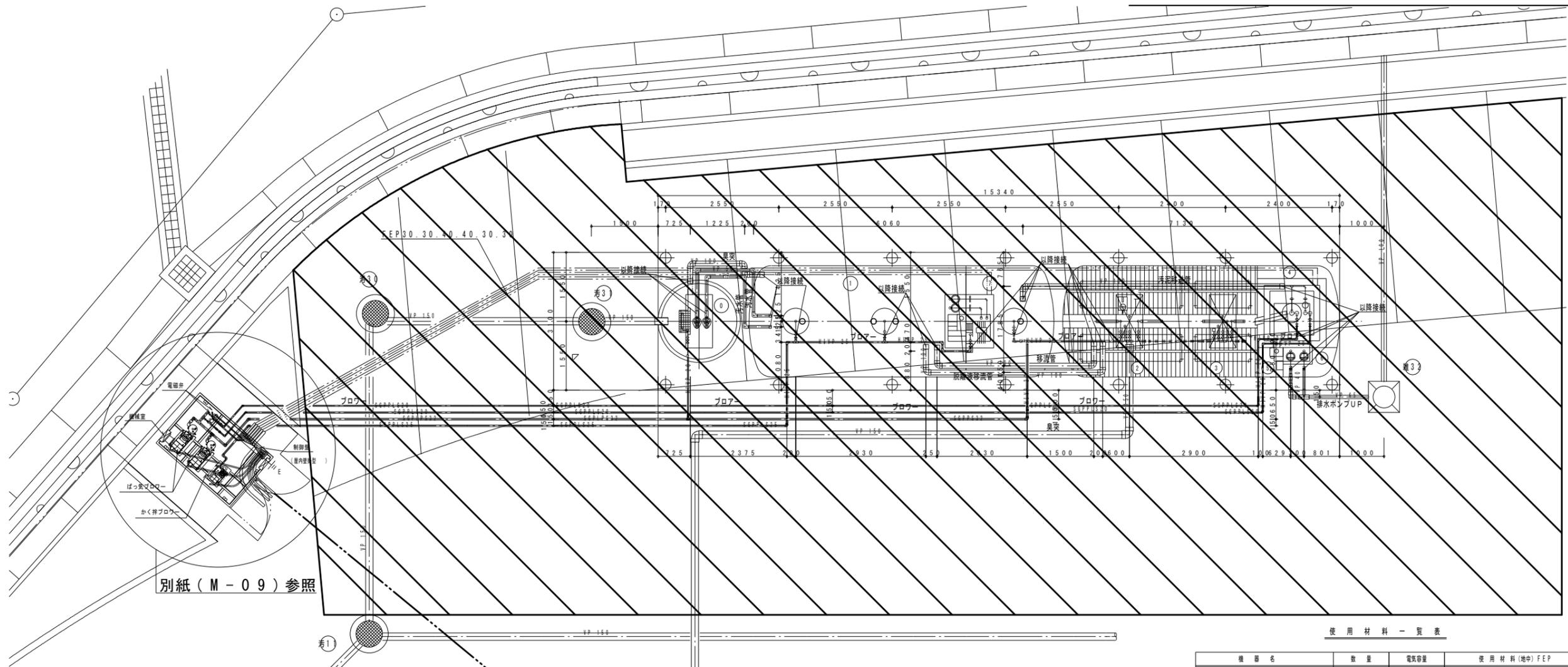
課長	係長	設計	校閲	日付	備考

特記事項

柵及び配管は撤去し、残置する配管はキャップ止め等行うこと

浄化槽及び浄化槽基礎コンクリート撤去時仮囲い及び軽量鋼矢板を設置すること

浄化槽撤去は環境騒音レベルを可能な限り小さくする方法で行うこと



別紙(M-09)参照

CV2φ2C FEP30

→CV2φ2C臭突管用ファンまで撤去

臭突管用ファンへ 以降別紙(M-10)参照

使用材料一覧表

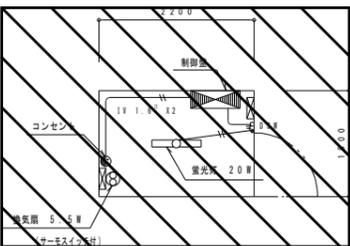
機器名	数量	電気容量	使用材料(地中)FEP	(露出)CP
ばっ気ブロワー	2台(1台予備)	1.50 kw	CV 2 φ 4C X 2 30	31
かく拌ブロワー	1台	0.30 kw	CV 2 φ 4C 30	31
無極目スクリーン	1台	0.025 kw	CV 2 φ 4C	
N0.1流量調整ポンプ	1台	0.25 kw	CV 2 φ 4C	40
N0.2流量調整ポンプ	1台	0.25 kw	CV 2 φ 4C	
N0.1原水ポンプ	1台	0.40 kw	CV 2 φ 4C	30
N0.2原水ポンプ	1台	0.40 kw	CV 2 φ 2C	
N0.1放流ポンプ	1台	0.25 kw	CV 2 φ 2C	30
N0.2放流ポンプ	1台	0.25 kw	CV 2 φ 2C	
電磁弁(エアリフトポンプ)	1ヶ		CVV 2 φ 2C 30	31
電磁弁(スクラムスキーマー)	1ヶ		CVV 2 φ 2C 30	31
フロートスイッチ(原水ポンプ用)	1組(3ヶ1組)		CVV 2 φ 4C 30	31
フロートスイッチ(流量調整用)	1組(3ヶ1組)		CVV 2 φ 4C 30	31
フロートスイッチ(放流ポンプ用)	1組(3ヶ1組)		CVV 2 φ 4C 30	31

総電気容量: 3.625 kw

機器名	数量	電気容量	使用材料(地中)FEP	P.S内
臭突ファン	1台	0.0305 kw	CV 2 φ 2C 30	31

既設電線配管

地中埋設電線管は波付硬質ポリエチレン管[FEP]、P.S内立上り部の電線管は、鋼製電線管(薄鋼)[CP]を使用



100V二次側電気配線図

ハッチング内既設配管及び既設配線等撤去

三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付	備考

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

浄化槽既設配管等撤去図

縮尺

1/50

図面番号

M-08

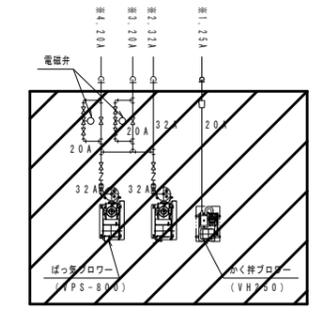
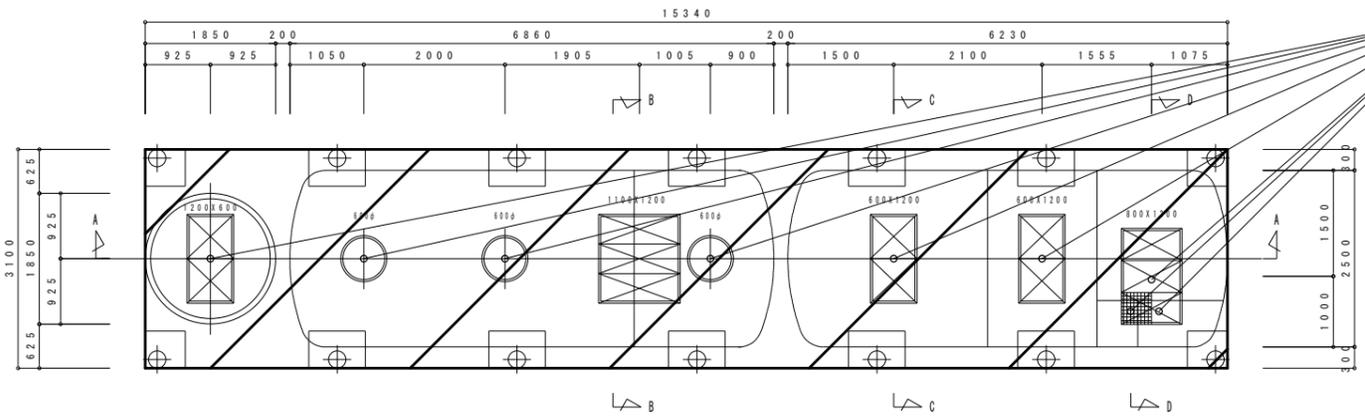
枚の内

号図

ダイヤモンドカットによるコア抜き×9か所

特記事項

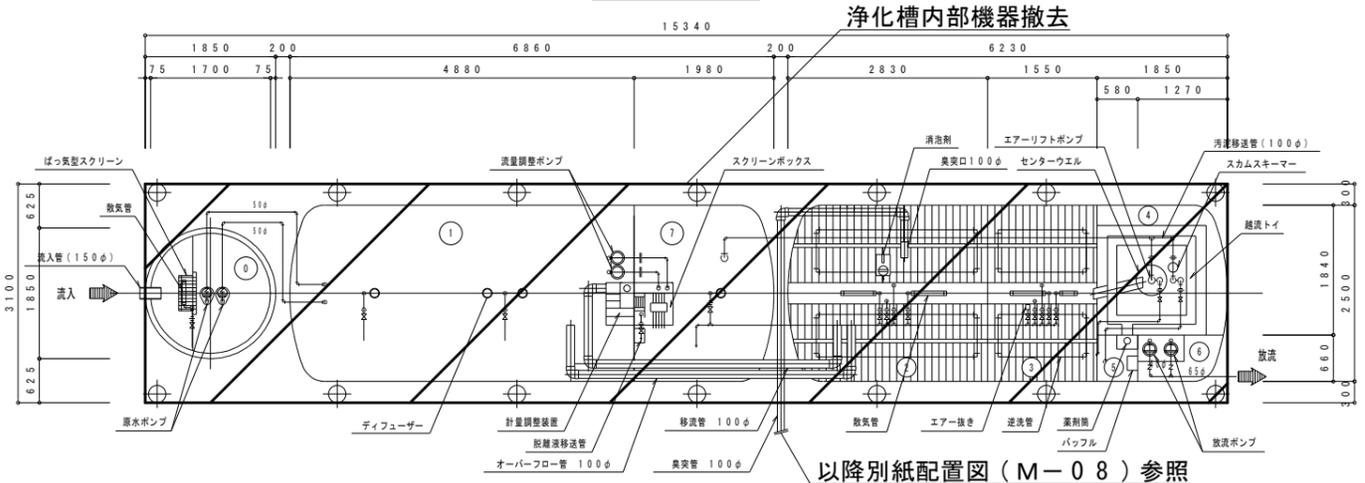
- 浄化槽内部機器等（配管及び配線含む）を全て撤去すること
- 浄化槽及び浄化槽基礎コンクリート（GL-3450以上）撤去後山砂等で埋戻しを行うこと
- 機械室（機器等含む）及び機械室基礎コンクリート（GL-350以上）を撤去すること
- 浄化槽撤去は環境騒音レベルを可能な限り小さくする方法で行うこと



計画汚水量	25	m ³ /日
取組対象人員	101	人
取組方式	流量調整+接触ばっ灰方式 (接触時間:1.5分 量:0.1)	
品名	CPF2-101(2A)-25(200)P-8T	
認定番号	00K-68R-003-1	
設計水量	流入水量(m ³ /L)	放流水量(m ³ /L)
800	200	20

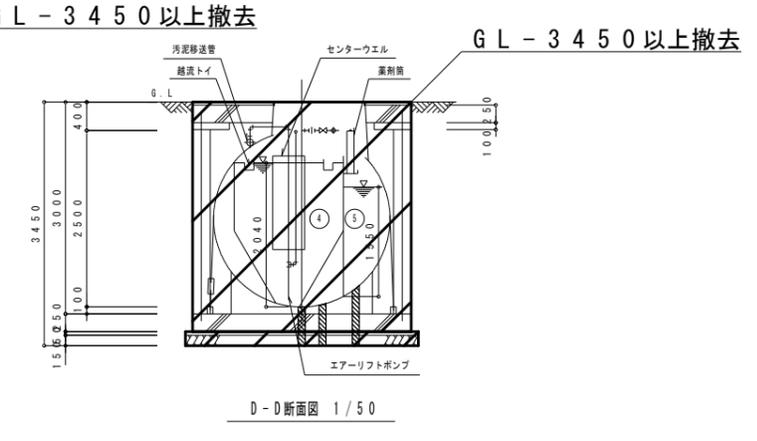
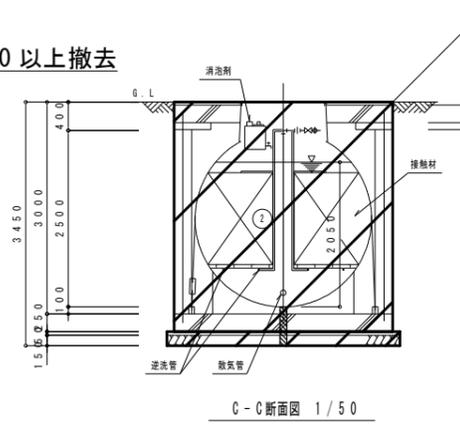
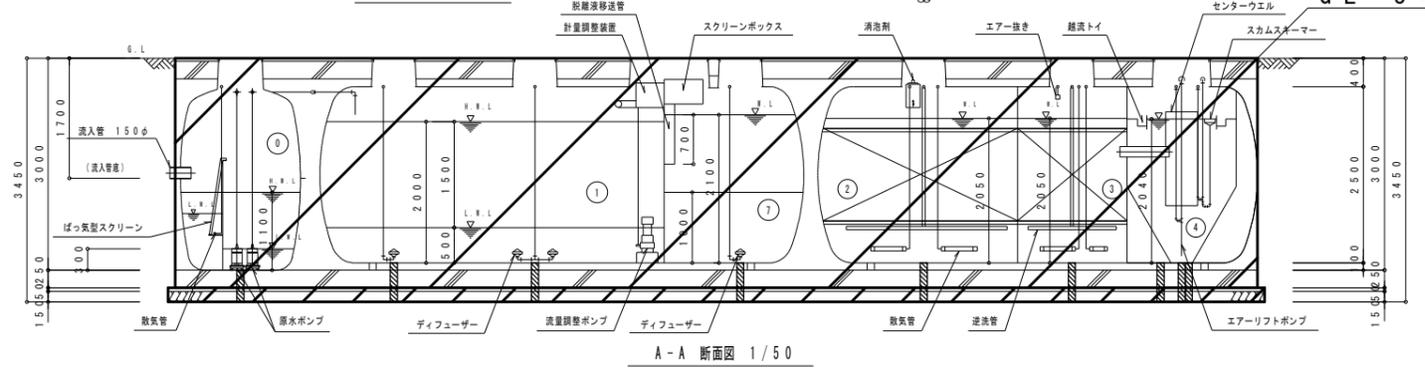
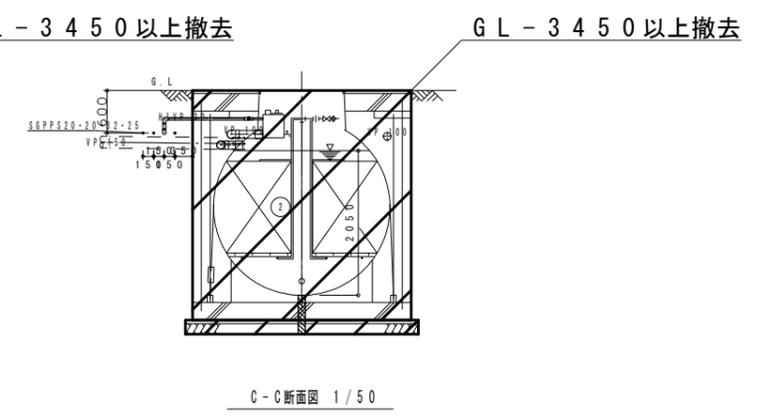
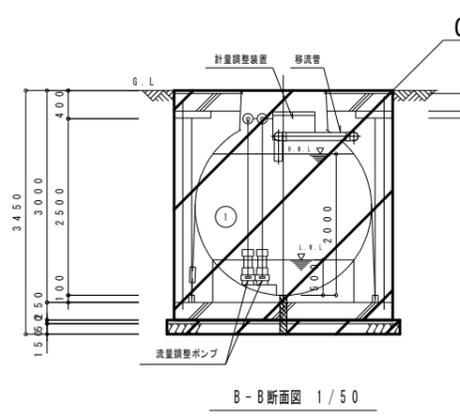
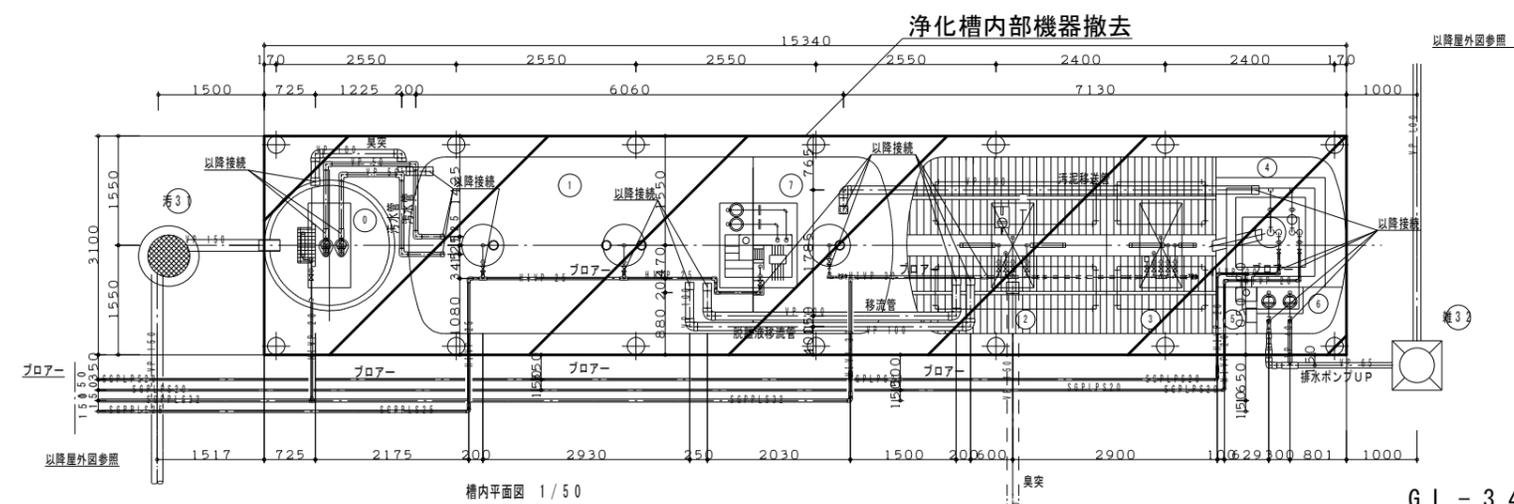
NO	機名	有効容量(m ³)
①	原水ポンプ槽	1.20
②	流量調整槽	16.69
③	接触ばっ灰槽第1室	10.01
④	接触ばっ灰槽第2室	6.66
⑤	沈殿槽	3.15
⑥	消毒槽	0.46
⑦	放流水ポンプ槽	0.74
⑧	汚泥溜り槽	7.47

機器名	仕様	消費電力(kW)	台数
かく付ブロー	20mm X 0.25 m ³ /min X 0.02MPa	0.30Kw	1台
ばっ灰ブロー	32mm X 0.80 m ³ /min X 0.02MPa	1.50Kw	2台
原水ポンプ	50mm X 0.24 m ³ /min X 3.0m	0.40Kw	2台
流量調整ポンプ	40mm X 0.16 m ³ /min X 3.0m	0.25Kw	2台
汚泥引揚ポンプ	25mm X 0.11 m ³ /min (MAX)	0.73PS	1台
放流ポンプ	40mm X 0.12 m ³ /min X 5.0m	0.25Kw	2台
接触目スクリーン	27.0 m ² /h 2.5mm目	0.025Kw	1台
臭気ファン	150mm X 1.20m ³ /min X 54.6Pa (VX15M2)	30.5W	1台(1φ100V)



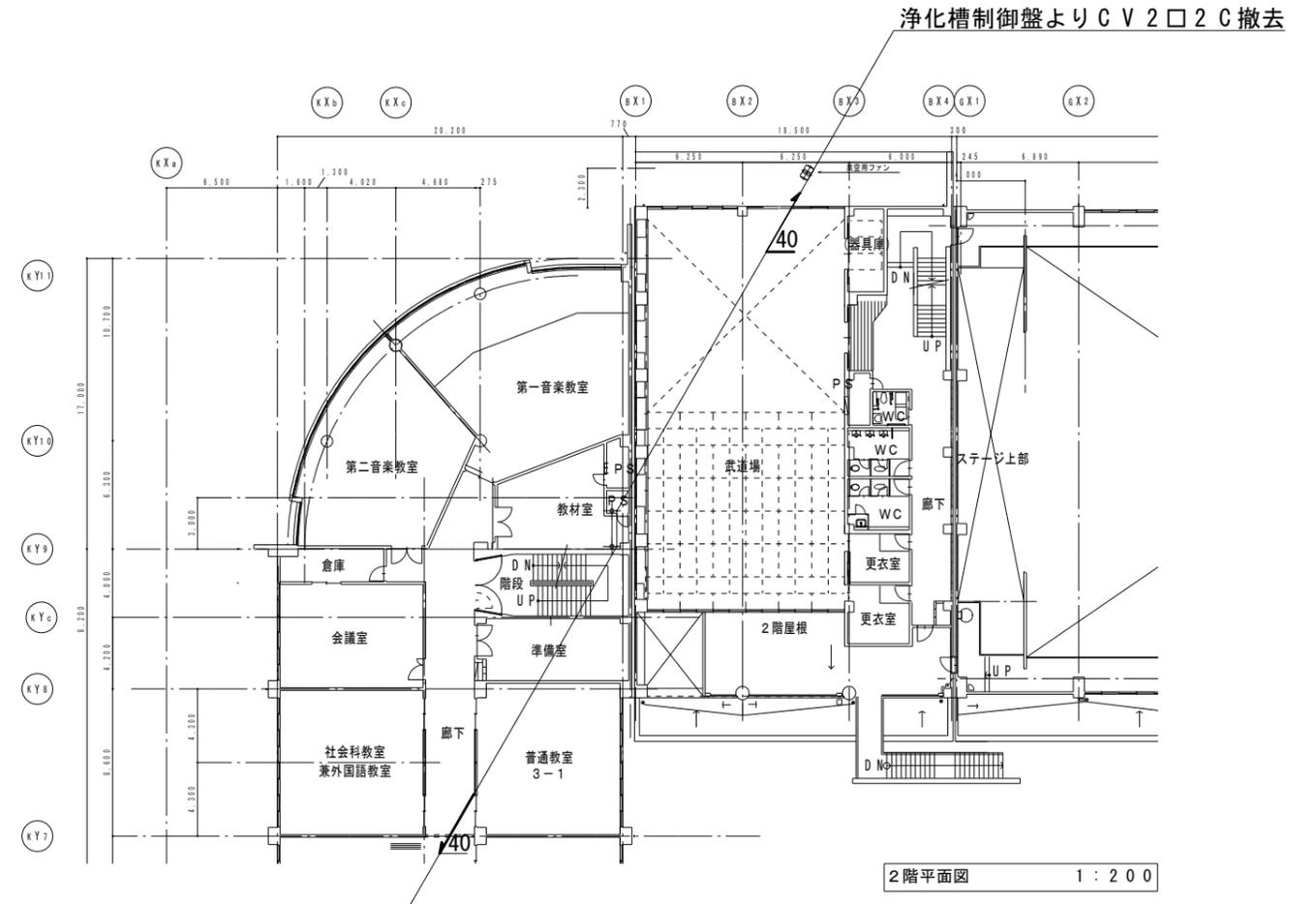
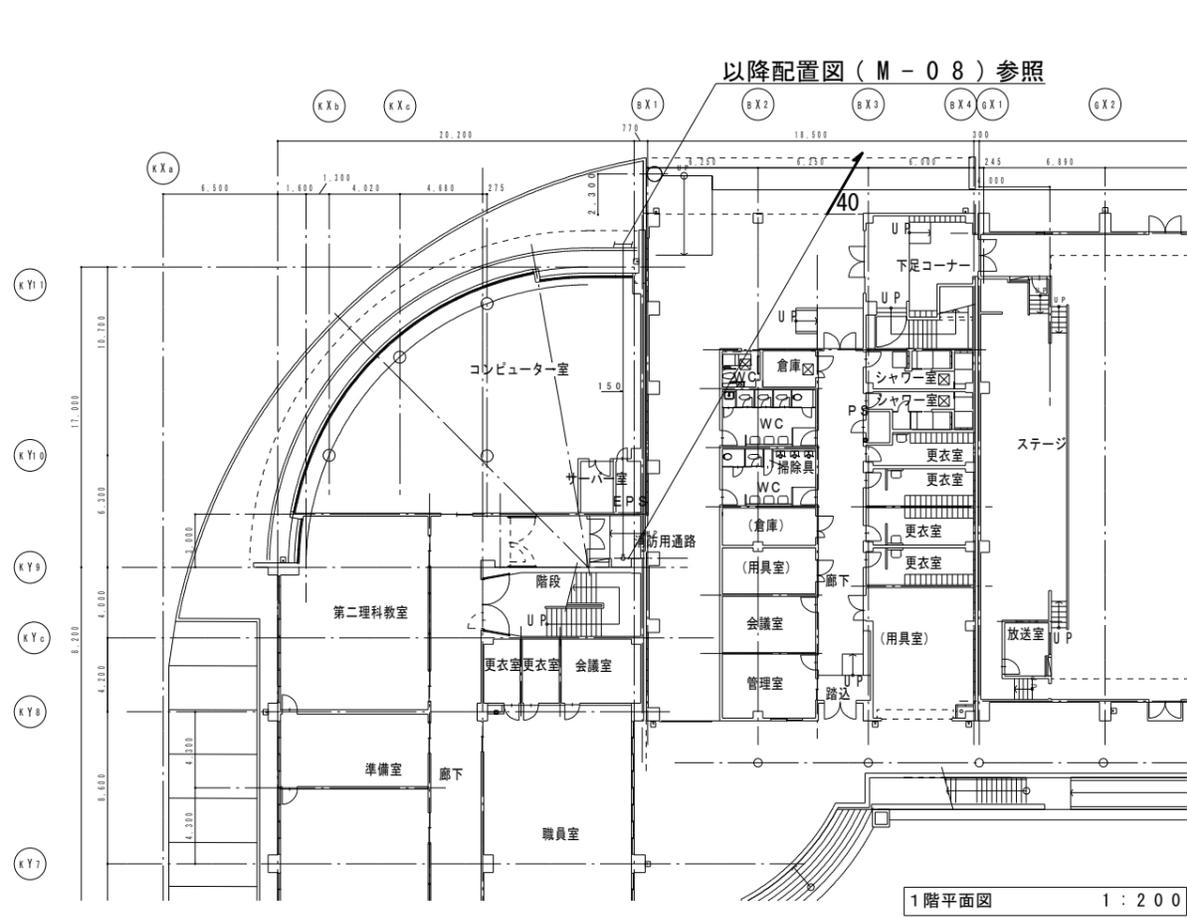
ハッチング内全撤去

浄化槽底部及び基礎コンクリートコア抜きΦ100×500[mm]



特記事項。

浄化槽制御盤から臭突用ファンまでのCV2-2Cを撤去すること



三原市役所

三原市港町三丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長	係長	設計	校閲	日付

備考

工事名

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

図面名称

既設臭突管用配線撤去図

縮尺

1/200

図面番号

M-10

校の内
号図

参 考 数 量 書

工 事 名 称

三原市立第二中学校公共下水道接続工事

[工事概要]

三原市中之町二丁目

用途,構造,面積

工 事 範 囲

一 式

別 途 工 事

な し

工 期

契約締結日の翌日から 令和4年3月31日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設計金額 円

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

機械設備工事 細目別内訳

給排水衛生設備工事		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 150A	9	m			
プラスチック樹(鋳鉄製防護ふた)	樹径200φ 最大排水管径150φ 90L、45L 1201~1500 T- 8 蝶番袋穴式	1	組			
配管分岐(樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 150A 保温無	1	か所			
配管切断(樹脂管類)・手間のみ	配管切断 150A 保温無	1	か所			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	37	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	35	m3			
山砂		2	m3			
軽量鋼矢板設置	H=2000mm	15	m			
軽量鋼矢板撤去	H=2000mm	15	m			
軽量鋼矢板賃料		1	式			
支保工設置		15	m			
支保工撤去		15	m			
支保工賃料		1	式			
仮設材運搬費		1	式			
歩車道境界ブロック	取外し・再取付け	1	m			

機械設備工事 細目別内訳

給排水衛生設備工事		浄化槽設備		浄化槽撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
浄化槽撤去	GL-3.45mまで 基礎及び槽内機器撤去共	1	式			
機械はつり(ガイヤ ントカッターによる 配管用貫通口)	500mm程度 100mm	9	か所			
点検口撤去処分	1200×600	3	個			
点検口撤去処分	1300×800	1	個			
点検口撤去処分	1100×1200	1	個			
MH撤去処分	600Φ	3	個			
ため柵撤去処分	RC-2 450□ 550H MHD-450	1	個			
山砂		189	m ³			
発生材処理		1	式			別紙 00-0003
発生材運搬費	4t積	38	台			
軽量鋼矢板	LSP-3b型(t=5mm) L=6.0m 116枚	18	t			
山留主材	H250	5.7	t			
山留部材		1.02	t			
軽量鋼矢板整備費		18	t			
山留材整備費		5.7	t			

機械設備工事 細目別内訳

給排水衛生設備工事		浄化槽設備		浄化槽撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
売切材料費	ボルトナット	360	個			
売切材料費	ブラケット	28	個			
残土処理費		18	t			
鋼材損耗見込み	軽量鋼矢板 18t×10%	1.8	t			
鋼材損耗見込み	山留材 5.7t×5%	0.28	t			
鋼材出庫入庫料		24.8	t			
鋼材運搬費	4t車	15	台			
軽量鋼矢板打込引 抜費	油圧圧入工法	9	日			
切梁・腹起し設置 撤去		4	回			
機材運搬費	矢板圧入機他	1	式			
荷取卸積込費		1	式			
計						

機械設備工事 別紙明細

給排水衛生設備工事		排水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
舗装はつり補修		1	式			別紙 00-0001
カッター入れ	アスファルト面, コンクリート面 厚さ50mm	46	m			
アスファルトはつり	床 厚50mm 集積共	306	m ²			
下層路盤	RC-30 t=10cm	310	m ²			
上層路盤	RM-30 t=10cm	310	m ²			
アスファルト舗装	A-5-20 再生密粒 再生クラッシュラン 500m ² 未満	310	m ²			
駐車場区画線	W=10cm	82	m			
計						
発生材処理		1	式			別紙 00-0002
廃材処分費	廃プラスチック	0.5	t			
廃材処分費	アスファルト	36	t			
残土処分		3.6	t			
計						

